

2004年3月23日

東京都千代田区霞が関二丁目1番2号  
警察庁長官 佐藤 英彦 様  
同 列車爆破テロ警備担当 御中  
東京都千代田区霞が関一丁目1番1号  
東京地方検察庁 御中

〒 東京都足立区  
自宅電話 00-0000-0000  
(留守電、携帯、FAX、メールアドレスはなし)  
半澤 一宣(はんざわ・かずのり)

前略 本日、警察庁には第124 54 45163 4号、東京地方検察庁には第124 54 45164 5号書留内容証明郵便にて送付した告発状にかかわる証拠文書と証拠写真を送付致しますので、御査収願います。

以下に内訳明細を記しますので、不足等がございましたら御連絡願います。

1. 証拠文書(半澤から東武鉄道に差し出した内容証明文書とその郵便物配達証明書、及び半澤が東武鉄道から受け取った文書とその送達封筒の写し)

2003年1月24日付け 東武鉄道あて要請書(第120-55-33156-2号書留内容証明郵便、11枚組)

2003年2月21日付け 東武鉄道あて質問状(第120-55-35177-0号書留内容証明郵便、6枚組)

2003年2月28日付け 東武鉄道あて質問状(第120-55-35422-0号書留内容証明郵便、5枚組)

平成15年2月27日付け 東武鉄道からの回答書(第120-55-35409-1号書留内容証明郵便、5枚組)

2003年3月 3日付け 東武鉄道あて質問状(第120-55-35536-2号書留内容証明郵便、9枚組)

平成15年3月14日付け 東武鉄道からの回答書(第120-55-35984-2号書留配達証明郵便、2枚組)

2004年2月29日付け 東武鉄道あて質問状(第120-58-74611-4号書留内容証明郵便、7枚組)

2003年3月 4日付け 東武鉄道あて質問状(第120-58-74711-6号書留内容証明郵便、5枚組)

平成15年3月19日付け 東武鉄道からの回答書(第120-58-75389-5号書留配達証明郵便、全1枚)

2. 東武鉄道車両の乗務員室部分の貫通路構造の欠陥を示す写真(全6枚)

A4判の台紙全2枚に糊付け貼付。写真の解説は別紙を御参照願います。

なお本件告発にかかわる問題については、国土交通大臣・石原伸晃様、同省鉄道局長・丸山博様、及び同局業務課長・高田順一様にも通報済みですので、付記致します。

御不明な点がございましたら、上記半澤まで御連絡ください。

以上.

(別紙) 東武鉄道車両の乗務員室部分の貫通路構造の欠陥を示す写真の解説

営団地下鉄半蔵門線乗り入れ用30000系車両で、客室と貫通路(乗務員室)との仕切り扉に取り付けられた幕下げ防止装置(矢印、2003年3月に取り付け)のレバーを手前にこじるようにして窓ガラスとの隙間を広げながら、遮光幕を強く引っ張り、幕下げ防止装置を突き抜いて遮光幕を下げきった状態を、貫通路内から撮影したもの。遮光幕とは夜間やトンネル内で客室の明かりが運転席前面のガラスに反射して運転中に前方確認の妨げとなるのを防ぐためのもの。

写真の状態を客室側から撮影したもの。貫通路(乗務員室)との仕切り扉のガラス窓の下縁の高さは、平均的な体格の大人が座席に腰掛けたときの目の高さと同じか、やや高い程度であるため、立ち客がいない程度の混雑度であれば、遮光幕が下げられていなかったとしても、通り抜けを装って貫通路内でテロ工作などの犯罪を他の乗客に気付かれないように行うことは、十分可能と考えられる。

30000系車両の貫通路の床に残る、ここで喫煙した乗客がたばこを踏み消したときにできたとしか考えられない焼け焦げの跡。

写真と同様の焼け焦げ跡が床に残る、日光線快速列車用6050系車両の運転席。この形式では、日光線新鹿沼～東武日光間の連続急勾配区間を下るとき(上り列車)において、通常空気ブレーキ(右手で操作)だけでなく、抑速発電ブレーキ(自動車のエンジンブレーキに相当、左手で操作)も同時に使用される。したがって、この車両の運転席で喫煙が行われているということは、上記区間において、空気ブレーキと抑速発電ブレーキの少なくともどちらかを操作できない瞬間が頻発している危険運転が、日常的に行われていることを示している。

仕切り扉の施錠防止装置(矢印A)と遮光幕操作防止装置(矢印B)が取り付けられた6050系車両。仕切り扉の窓の寸法は従来そのまま変更されていない。

写真の仕切り扉施錠防止装置と遮光幕操作防止装置が取り付けられていない8000系車両(営団地下鉄半蔵門線には乗り入れない)において、仕切り扉を施錠(矢印)し遮光幕を下げきった状態。写真の状態に順次改造されつつあるが、8000系車両と10000系車両(同)を中心に、未改造の車両がまだ多い。

#### 撮影データ

2003年3月19日(水曜日)

北越谷5時15分発 区間準急中央林間ゆき 第C550T列車  
車両番号 クハ36602号車(南栗橋検修区配置)

2002年10月25日(金曜日)

北千住7時49分発 区間準急南栗橋ゆき 第3613列車  
車両番号 クハ36609号車(春日部検修区(当時、現南栗橋検修区)配置)

2002年10月25日(金曜日)

伊勢崎6時30分発 準急北千住ゆき 第2416列車  
車両番号 クハ31401号車(春日部検修区(当時、現南栗橋検修区)配置)

2004年1月12日(月曜日、成人の日)

浅草7時10分発 快速東武日光・会津田島ゆき 第35列車

車両番号 クハ6267号車（南栗橋検修区新栃木出張所配置）

2004年1月12日（月曜日、成人の日）

新栃木5時03分発 準急浅草ゆき 第2200列車

車両番号 クハ6272号車（南栗橋検修区新栃木出張所配置）

1999年11月14日（日曜日）

浅草6時23分発 普通南栗橋ゆき 第603列車

車両番号 クハ8439号車（館林検修区（当時、現南栗橋検修区館林出張所）配置）

記事 書留郵便物引受番号と配達完了日および配達郵便局（いずれも書留配達証明郵便）

警察庁宛て 第124-54-45165-6号

東京地方検察庁宛て 第124-54-45166-0号

いずれも平成16（2004）年3月23日に東京中央郵便局にて配達完了

\* 本状に対する警察庁からの回答は無し。